

花巻ファーマー

情報通信技術を活用して栽培した高糖度のミニトマト



株式会社ネクスグループ
代表取締役社長
秋山 司 さん
(上根子 54歳)

株式会社ネクスグループが12棟のビニールハウスで栽培する「ITトマト」。糖度8以上のそのミニトマトは「フルーツのよう」に甘いと評判」と代表取締役社長の秋山司さんは話します。同社が栽培しているのは、サンチェリーピュア(赤色)、イエローミミ(黄色)、オレンジ千果(オレンジ)、サングリーン(緑色)、トスカリーナバイオレットCF(紫色)の5品種。色によって酸味と甘みが違い、それぞれの味わいが楽しめると言います。

は当時を振り返ります。さまざまな野菜を栽培する中、年間を通じて安定して栽培できたのがミニトマト。通信技術を生かした農法で栽培されたことから「ITトマト」の名前が付けられました。

同社では、「ITトマト」の規格外品も活用。市内外の法人に製造を委託し、ジュースやカレー、ラスクといった加工品を販売しています。昨年から「フルーツほおずき」の栽培を始めるなど、新しい農業経営の取り組みを進めています。



色とりどりの「ITトマト」。酸味と甘みのバランスがそれぞれ違うのが特徴です。

広げよう
活動の輪

障がい者の就労を支援
NPO法人 **花巻あけぼの会**

【問い合わせ】
NPO法人
花巻あけぼの会
理事長 千田 ツサ さん
(☎22-1722)

「花巻あけぼの会」は、就労支援施設「ハッピー作業所」を運営し、障がい者の就労支援をしています。

ハッピー作業所では、ニンニクの皮むき・分別や再生資源の回収・分別販売などの事業を展開。障がい者と職員が家族のような関係を築き、一緒に作業をしています。

「ゆつくり、やさしく、おだやかに」をモットーに掲げ、熱心に勤める皆さん。土の付いた外皮がむかれ、白い姿になったニンニクは「作業が丁寧」と取引先から評判だといいます。



① 熱心にニンニクの皮をむく皆さん ② 丁寧に外皮がむかれたニンニク ③ 作業所の皆さん

市民生活コーナー

契約トラブルに注意

■どんな相談があるの？

○契約書をよく読まずに業者と契約したら、自分に不利な内容だった。慌てて解約を申し出たが「納得してサインしたことになる」と言われ、受け入れられなかった

○電話で勧誘してきた業者に「電話料金が安くなることに興味があるか」と言われ「はい、はい」と話

■注意することは？

○契約は「申し込み」と「承諾」という行為であり、法的な拘束力を持つ約束です。キャンセルしたいと思っても、契約を一方的に解消することはできません。トラブルを避けるために契約書や約款をよく読み、契約内容を理解しましょう

■困ったときは？

○新館市民生活総合相談センター(☎2421111)内線259)へ

○安易な返事をする、契約を承諾したと捉えられる場合があります。断るときは、はっきりと相手に伝えましょう

○契約書の内容によって、解除や取り消し、クーリングオフができるものもあります。契約する前に確認しましょう

COLUMN:Health

健康コラム

お菓子と上手なお付き合い

私たちの生活の中で身近な食べ物となっているお菓子。おやつとき、お菓子をおいしいと思うままに、「ついつい食べてしまう」「食べ始めるとやめられない」ということはありませんか。

今回は、「おやつ」の本当の意味と「お菓子」との上手な付き合い方を紹介します。

●おやつの本当の意味

「おやつ」は、食事で取れない栄養を補給する大事な役割があります。特に、成長期の子どもの食の細い高齢者、運動・仕事などで活動量が多い人にとっては、不足している栄養をプラスする「第4の食事」となります。

【食事で不足しがちな食品別】

〔乳製品〕 牛乳、チーズ ヨーグルト	〔果物〕 リンゴ キウイ	〔マメ類〕 豆乳 きなこ	〔イモ類〕 サツマイモ
--------------------------	--------------------	--------------------	----------------

●お菓子と上手につき合うコツ！

疲れたときにひと口お菓子を食べると、心が温まり気分転換になります。

ただ、お菓子には「糖質」「脂質」「塩分」が多く含まれているものもあり、食べ過ぎは肥満や虫歯の原因になることがあります。

【お菓子を食べるときのコツ】

＊その1「食べる時間」

- ・食事の2時間前には食べ終わる
- ・ながら食べをしない

＊その2「食べる量」

- ・袋入りのものは、小分けにして食べる
- ・自分の片手の手のひらにのる量

おやつは、「種類・量・タイミング」に気を付けて、楽しみながら食べるといいですね！

【問い合わせ】健康づくり課(☎23-3121)

いいトコ発見!
地域おこし協力隊

岩手わかすフェスで「消しゴムはんこ」を使ったフロモーションを行いました！

-シティフロモーション担当 塩野 タ子-

2月9日、東京で行われた「岩手わかすフェス2019」に参加し、花巻市の魅力をPRするワークショップを開催しました。「首都圏の人にインパクトある方法で花巻の魅力を伝えるにはどうしたらいいか」を考え、消しゴムはんこを手拭いに押してもらうことにしました。

当日のワークショップには、10人の首都圏在住者が参加。「はんこを通じて花巻の伝統や特徴を楽しく知ることができた」「作りながら花巻を思い出した」などの感想をいただきました。うれ

しいことに見学希望者が出るなど、ワークショップにはにぎわいながらも和やかな雰囲気が進めることができました。

花巻は、はんこデザインに使った魅力のほかにも、たくさんいいところがあります。「ぜひ、花巻で同じイベントをやってほしい」というお言葉もいただきました。首都圏の人にこのイベントの情報を広めていただいた皆さんにはとても感謝しています。



花巻の魅力をデザインした消しゴムはんこ



塩野隊員(右下)とワークショップ参加者